

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2015年8月3日（月）

第523号 本号3号

## 8・30 国会10万人、全国100万人 大行動成功へアピール

### 総がかり行動実行委員会

戦争法案廃案、安倍政権打倒へ大きく情勢を切り開いてきた戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、引き続きこの暑い8月の活動を強めています。

①毎週火曜の全国一斉街頭宣伝行動のとりくみ、毎週木曜の連続国会前行動を継続して行ないます。

②一大決起の結節点として、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動」を設定しています。国会周辺を未曾有の10万人で包囲するとともに全国各地草の根の総決起を呼びかけ、全国一斉の「戦争法案廃案！安倍政権退陣！」の声で安倍政権を震撼とさせましょう。下記アピールをさまざまな場面で活用しましょう。

【アピール「8・30の10万人国会包囲行動と全国100万人行動の創出で、安倍政権をさらに追い詰め、戦争法案を廃案にするたたかいを」別項に全文】

#### 【別項】

### 8・30の10万人国会包囲行動と全国100万人行動の創出で、 安倍政権をさらに追いつめ、戦争法案を廃案にするたたかいを

戦争させない、9条壊すな！総がかり行動実行委員会

<はじめに>

7月15～16日の衆議院での戦争法案の強行採決を経ても、全国のひとびとの怒りと運動は衰えを知らず、戦争法案廃案をめざす運動と安倍内閣の退陣を求める声は、猛暑の夏をものともせず、全国の各界各層の人びとのなかで広がり、高まっている。その多様性、重層性、創造性はかつて見られなかった広がり方を示している。国会内の野党各党と連携して展開されているこの戦争法案廃案運動の拡大は安倍政権と与党を追いつめ、参議院での議論が始まったばかりであるにもかかわらず、すでに国会の論戦ではボロボロの状態になっている。そして私たちはこうした情勢の中で、この戦争法案を廃案にできる可能性を手に入れつつある。

<運動の出発と経過>

私たちは広範な世論の高まりによって、2007年、9条改憲を公言した第1次安倍政権を崩壊させた経験があり、2013年、第2次安倍政権が企てた96条改憲論を破綻させた経験があり、さらに直近では国立競技場建設構想を白紙撤回させた実績がある。

しかし安倍自公政権は、衆議院3分の2を超える議席数を持ち、戦争法案廃案への闘いの道のは決して容易なものではないが、「平和憲法の破壊、立憲主義を無視して集団的自衛権の憲法解釈の変更」という動きに、さまざまな運動体が行動を始めた。

2014年前半に、「戦争をさせない1000人委員会」が発足し、「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」が立ち上がり、「戦争する国づくり反対！憲法をまもりいかに共同センター」が再編発足した。これら3つのネットワークは、出自や経過から来る立場の違いを乗り越え、さまざまな運動の現場での共闘からはじまって、次第に連携を強め、2014年末には「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」を結成した。安倍政権による「平和と民主主義の破壊」、「戦争の足音の高まりへの恐れ」を目の当たりにした3団体は、「平和と民主主義の実現」の責任の一端を担わなければならないという決意に突き動かされ、画期的な共同を実現させた。

この運動は、2015年にはいり5月3日の憲法記念日集会の成功を踏まえて、前述の3団体に加えて、5・3集会の実行委員会に参加した反原発関連の3団体や、反貧困運動、女性の運動、国際連帯運動などなどさまざまな分野の市民運動のネットワークがそれぞれの課題の違いを超えて、「総がかり実行委員会」に参加・統合された。

#### <この間の私たちの主なとり組み>

この「総がかり行動実行委員会」は、毎週木曜日の国会行動などをはじめ、数万の規模による6・14、6・24、7・14、15、16、17、7・26、7・28など戦争法案に反対する連続的な国会行動や国会前座り込み、新聞意見広告のとり組み、各所での街頭宣伝など、従来の枠を超えた大きな活動を展開した。一方、野党各党への要請・懇談や議員へのロビーイングなど、野党の国会議員への働きかけも積極的に行い、連携を強化した。

いま戦争法案廃案・安倍政権退陣をめざす運動は全国で大きく高揚している。そして戦争法案反対、今国会での強行反対の声はどの世論調査でも急速に拡大し、安倍政権の支持率は急落している。

私たちは、このねばり強い運動が「戦争法案廃案」めざしての各界各層の人びとの決起と、全国各地の草の根での運動の高揚に貢献したと自負している。私たちがくり返し提唱してきた、思想信条政治的立場の違いを超えた「戦争法案反対」の大きな共同行動の実現と、そうした取り組みの中でこそ勝利の展望が描けるという確信が、事態を大きく切り開いてきたと言っても過言ではない。

#### <共同行動のいっそうの拡大を>

窮地に追い込まれた安倍政権は国会会期を大幅に延長し、かつ衆議院での強行採決に踏み切った。そして焦点は、参議院段階へと移り、安倍自公政権が、参議院で強行採決することを許さず、衆議院での再議決をさせないたたかいこそ、焦眉の課題となっている。

衆議院段階でのかつてなかった層や市民による新しい運動の広がりをさらに期待すると同時に連携しての共同行動を作り上げる努力が求められている。

また一方、原発再稼働阻止・脱原発運動、沖縄の辺野古新基地建設反対運動、貧困と差別を許さない運動、アジアの人びととの連帯と共生運動などもそれぞれ情勢は緊迫している。そして闘いは大きく高揚している。それぞれの課題とも、安倍政権の暴走の結果であり、安倍内閣退陣をめざして、大きな闘いの連携の枠組みをつくる必要と可能性も大きく拡大している。

私たちは、全国各地での始まっている草の根での共同行動の展開をさらに押し広げ、立ち上がりつつある各界各層の人々の運動とさらに連携を強め、また安倍政権の暴走の下で苦しむ広範な民衆の運動と連携して、安倍政権を包囲し退陣に追い込む世論の一翼を担うことが私たちの役割であり、使命である。

#### <安倍政権の暴走をとめ、退陣を実現しよう>

安倍政権はこの夏、参議院での強行採決を念頭におきつつ、運動が後退することに淡い期待をいだき、自らの延命に期待している。そうであるなら、私たちの回答は明確だ。全力をふり絞って、この歴史的なたたかいを担いきり、運動の一層の発展を実現し、戦争法案廃案・安倍政権退陣を勝ち取ろう。

私たちは、毎週火曜日の統一街頭宣伝行動、木曜国会前集会などの地道な活動の積み上げ、提起される共同した取り組みを全力をあげて闘いぬこう。そして8月30日、戦争法案廃案をめざす10万人国会包囲行動と全国100万人統一行動を必ず実現し、いのちと民衆の怒りをながし、立憲主義

を無視し、憲法9条と民主主義を破壊し、戦争への道をひた走る安倍政権に決定的な打撃を加えよう。  
いまこそたちがあろう、手をつなごう。今日と未来のため、すべての力を戦争法案廃案と安倍政権の退陣のために集中しよう！

2015年7月31日

## 開き直りの磯崎補佐官 辞任と安倍首相の任命責任は重大 3日特別委員会

8月3日13時からの参議院特別委員会冒頭で「法的安定性は関係なし」と安倍政権の本音を語った磯崎陽輔首相補佐官の参考人招致が行われました。

磯崎補佐官は、「軽率な発言により審議に多大な迷惑をかけたことお詫び申し上げる。もとより法的安定性の重要性を認識している。今回の安保法制は9条解釈の基本論理は全く変わらず、合憲性と法的安定性は確保されていると認識している。国政報告会で環境の変化も議論しなければならない事を述べる際、法的安定性は関係ないという表現を使ってしまった。発言を取り消すとともに関係者にお詫び申し上げる。また安保法制の成立時期に関する発言もお詫びする。個人の見立てを申し上げたが総理補佐官として不適切だった。今後は総理補佐官の職務に精励していく所存」などと答弁。発言を取り消すといいながら、完全な開き直りを表明しています。

磯崎補佐官は直ちに辞任すべきであり、安倍首相はその任命責任にもとづき、補佐官の更迭、戦争法案を撤回しなければなりません。

## 参院特別委員会 8月4日以降の日程

明日4日(火)は「集中審議」がおこなわれます。9時～17時、首相出席、NHKTV入りです。傍聴しましょう。

8月5日(水)は「一般質疑」です。10時～17時です。

## 全国一斉街頭宣伝(総がかり行動実行委員会よびかけ)は明日4日

東京では、新宿駅東口(18:00～19:00)、巢鴨駅地蔵どおり商店街(〃)JR四ツ谷駅前(〃)、上野駅マルイ前(〃)御茶ノ水駅前(〃)大塚駅前(12:30～13:00)、西新橋1丁目交差点(17:30～18:15)＝以上憲法共同センター主催、有楽町駅前(18:00～19:00)＝戦争させない1000人委員会主催、新宿駅西口(18:00～19:00)、ほか＝解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会主催が取り組まれます。

最寄の行動に参加しましょう。